

福島支部会報 8号

日本山岳会福島支部

(平成 28 年 1 月から 3 月の活動)

Apr. 15. 2016 (平成 28 年)

公益社団法人日本山岳会福島支部

支部長 小林 正彦

事務局 〒960-8133 福島市桜木町 13-43

渡部 展雄 宅 気付

電話 (FAX) : 024-533-0541

支部新年会盛大に開催～26 名参加

2 月 6 日 (土) 午後 6 時から二本松駅前の「大宗旅館」に 26 名 (友会員 1) が集い、平成 28 年支部新年会を開催した。当旅館は、交通手段が列車とバスが中心だったころ、県内外から安達太良を目指す登山者の拠点として賑わった老舗で、料理も酒も旨く大いに交流を深めました。常連の参加者のほか、今回は地元二本松の齋藤郷太郎、本多彦一、新



後列左から 渡辺(敏)、齋藤(郷)、高田、熊谷、清野、小柳、深谷(金) 橋本、本多(彦)、渡部
中列左から 青柳、品竹、阿部学(新会員)、佐藤(一)、菊池、石井、江花、立ち姿の逸見、同じく遠藤
前列左から 阿部(俊)、伊藤(義)、佐藤憲子、小林、渡辺(健)、三瓶、齋藤(松) ～以上参加者 26 名～

入会員の阿部学 (無番荘阿部敬子会員の長男)、友会員佐藤憲子の各氏 (女史) の参加を得て決意表明と謹賀の一夜となった。その後小林支部長推薦の二次会々場においても大いに飲み、歌って終電車ぎりぎりまでの間山談義に花を咲かせて散会。

高曽根(こうぞね)山スキーツアーの実施

3 月 25 日 (金) 江花俊和会員をリーダーとする「高曽根山スキーツアー」を実施した。昨年、一昨年と 2 年連続悪天候続きで春山山行は中止やむ無きに至り、リベンジを期した今年も暖冬のため予定の「雄子沢・猫魔・雄国山春スキー」が滑走不能状態で、急きょ「高曽根山」とした。

午前 9 時小雪の中を出発、通常は 1 時間ほどの林道を 2 時間かけてゆっくり進み登山口へ。残雪と春の息吹を感じながらブナ原生林を登り、午後 1 時山頂到着。なぜか山頂付近だけが晴れていて、360 度の展望を楽しむことができた。山頂での昼食後、快適



なダウンヒルとなったが、唯一スノーシュー参加の渡部は悪戦苦闘するも無事終了。夏道のない高曽根山をこの時期に訪れることができた。(渡部展雄記)

事務局からのお知らせ

支部役員会で会費値上げを検討・総会提出へ

4 月 2 日 (土) 13:30 から支部役員会を開催。平成 27 年度活動及び会計総括と平成 28 年度支部方針等を協議、4 月 16 日「支部総会」への提出議案等を採択。

今年度は「支部創立 70 周年記念事業」を一年後に控え、苦しい台所事情を考慮して支部年会費の値上げをお願いする (1 千 5 百円から 2 千円) こととなりました。

支部総会に規約改正の提案をしたうえで、皆様にご過分の負担をお願いすることとなります。

山岳地域放射線測定結果

東日本大震災・東電福島第一原発事故が発生した年から、県内山岳地域 3 ヶ所を選定し、放射線量測定と記録化を行ってきました。昨年度で調査 5 年となりますが、県内の山岳地域の放射線量は着実に減少している数値となっています。本年以降も支部公益事業の重点として取り組む方針です。下表は、測定月日を特定せず、年内で一番数値が高かった値を計上しましたので参考にしてください。

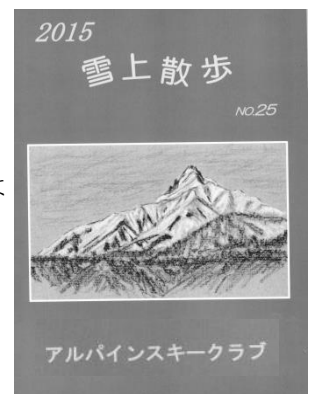
測定場所	平 23 年	平 24 年	平 25 年	平 26 年	平 27 年
吾妻山城	0.40	0.36	0.30	0.20	0.11
安達太良	0.18	0.16	0.15	0.10	0.11
那須・甲子	0.19	0.14	0.11	0.08	0.09

単位：1 時間当たりのマイクロシーベルト

アルパインスキークラブの紹介

全国の山岳スキー愛好者の団体である「アルパインスキークラブ」を紹介します。設立は平成 12 年、日本山岳会の中でも特に山スキー好きの会員が立ち上げ、現会員数は 107 名 (事務局日本山岳会本部 気付、年会費 3 千円) の組織です。県内では江花俊和氏が中心となり、全国規模で残雪期スキー山行の他、無雪期登山も行っています。

詳しくは江花氏もしくは事務局まで連絡を。



70 周年記念誌への寄稿文はお早めに！

昨年 6 月、福島支部 70 周年記念誌への寄稿を全支部員の方にお願いましたが、4 月 2 日現在、会員 76 名中 11 名から提出いただいております。締切日は 9 月 20 日ですが、編集の関係上早めに提出をお願いします。

なお、「指定原稿」をすでに提出された方も、「随想」をお寄せいただければ幸いです。

叙勲を受けられる予定の方がおられましたら事務局までお知らせください。

(70 周年記念誌編集委員会：逸見征勝 記)



ムラサキヤシオの咲く登山道